

事業委員会だより

■ あいさつ

事業委員会(職域班)担当 副理事長 羽場三喜男

本年5月の定時総会にて副理事長として職務を仰せつかる事になり、微力ながら皆様と共に頑張りたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

シルバーの基本理念に基づいて会員、役員が一丸となって事業に取り組む為に、各専門委員会をもうけ集中的にしっかりとその内容に向け取り組んでいきたいと思っております。

先月号では各、専門委員会の担当理事と役割の一覧発表もありましたが事業委員会としては事業創出、各種職域班、地域班、各種講習会等、新規の入会説明会と、環境面では堆肥化推進までを三名の理事で担当を受け持ち取り組んでおります。

現在、シルバーへの仕事の依存度は、清掃、草引き草刈り、剪定が全体に圧倒的に高い比率を占めており、極端に言えば実際に事業を牽引しているのは上記の代表職種であります。しかし現実はその職種の会員は少なく依頼があっても決してスムーズに受け入れられていない現実の問題について、会員との希望職種とのギャップをどのように縮めていくかが課題であり、事業拡大をはかる為にはこの問題をのりこえなくてはならないと思っておりますので、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

■ 堆肥化事業の紹介

事業委員会(堆肥化事業推進)担当理事 音羽 豊

堆肥化事業を担当し半年になります。まだ現場作業を少し経験しただけですが、会員の皆さんに事業を知っていただきたく、分かる範囲で紹介いたします。

班長さん以下9名の会員が分担し週2日作業を行っています。剪定班、草刈班から枝葉や刈り草が現場に運び込まれます。枝葉は細かくチップ状にし硫酸水を加え何度かの“切り返し”という作業を行い、1年かけて発酵させ完熟堆肥が出来上がります。刈り草もほぼ同じような工程です。堆肥化することにより焼却場を使わず、約240トンの炭酸ガスを排出削減出来、ささやかではありますが地球温暖化防止に寄与しています。

今の課題は草堆肥を安心して使えることの検証で、数人の農家による実験使用に加え府立大学農場での実験使用をお願いしているところです。もう一つの課題はシルバー堆肥を一般の方により知っていただく事で、先日のせいか祭りでは来場者の方々に2kg入りの堆肥を無料配布し喜んでいただきましたが、更に町内各家庭へのチラシ配布を検討しているところです。これらの課題を解決する事で堆肥化事業を安定的に進めていければと考えています。

■ SP第1回園芸スタッフ講習会を開講しました

平成25年11月11日から12月5日にかけて、SP(シニアワークプログラム)技能講習会として、「第1回園芸スタッフ講習会」を開講しました。昨年までの「樹木剪定講習会」に代わり、園芸全般にわたるテーマで、花卉・果樹・野菜・庭木に関する基礎知識、選び方、育て方、管理の仕方について講習しました。受講者は、定員15名に対し8名にとどまりましたが、熱心に受講し、全員が修了されました。

